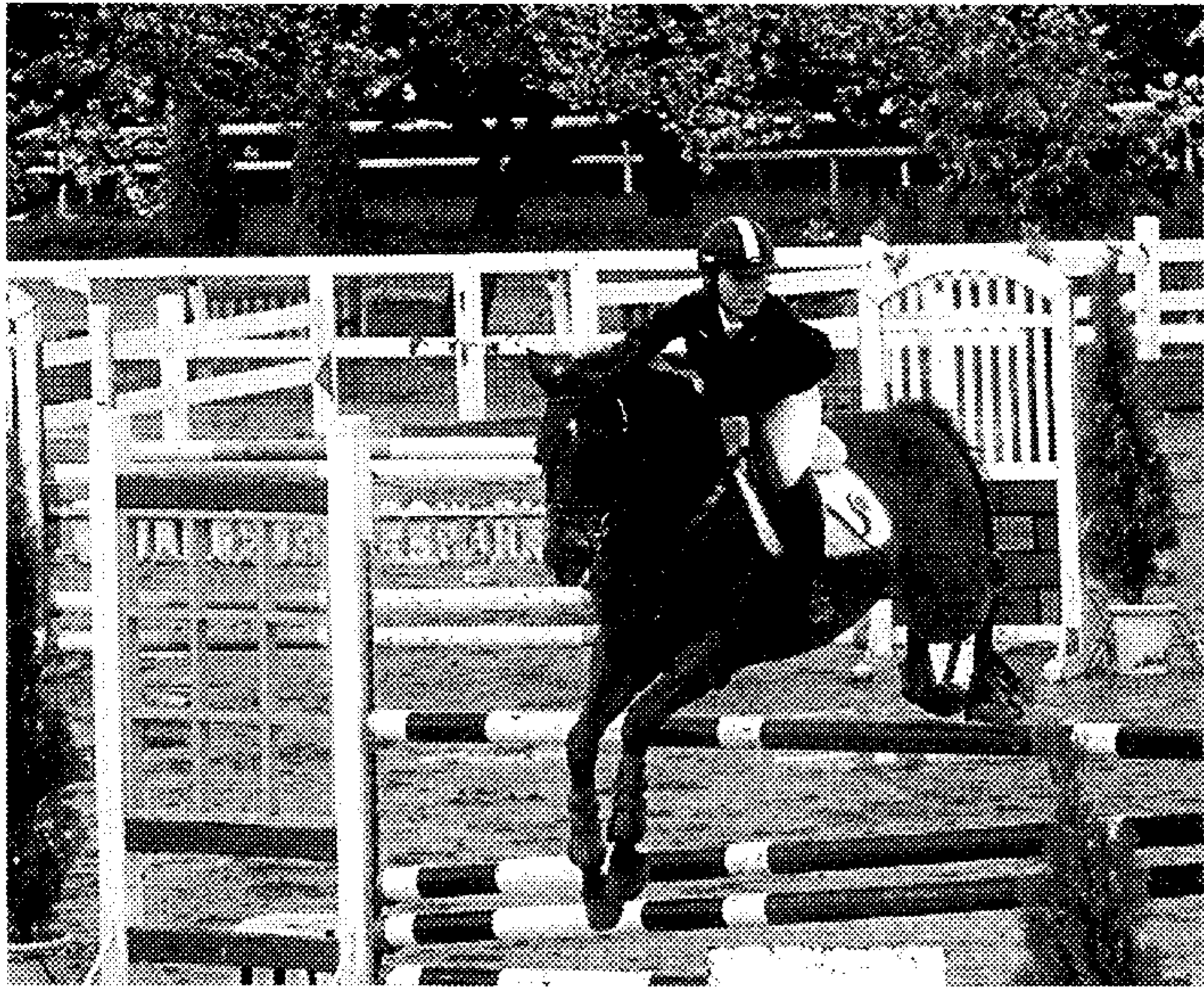


標準障害で武井優勝、柳原2位



▲ 新人障害の菅谷泰一（経済1）

団体総合は3位

東都学生馬術大会が4月18日から20日まで、JRA馬事公苑で催され、団体総合で連覇を目指した専大だったが、3位に終わった。初日は悪天候の中、女子障害飛越団体で2位。2日目以降も標準障害で武井慎弥主将（経済4・奈良高）が優勝、柳原大徳（商3・各務原西高）が2位、団体で2位。複合競技でも柳原が3位、鶴林舞（商2・市立前橋高）が5位となったが、首位との差は大きく、優勝には届かなかった。

なお、18日に行われた東都トーナメントは1回戦で中央大に敗れた。（久田 照喬・商2Ⅱ写真も）